

磐城時報

編輯兼發行所 磐城時報社
印刷所 加納活版所
電話 一二三
郵政掛號 第三三三三號
社址 磐城石城郡新田町
電話 一二三
代價 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一文字一日一圓 一週七圓 一月一八圓 三月四八圓 半年九六圓 一年一八四圓
電話 一二三
電話 一二三
電話 一二三

三町議内申洩れ

俄然町會で問題

選舉肅正運動に一波紋

町長「議員の責務を説く」

平町會は二十六日午前十一時から開かれたが、開會前頭から高橋新井、酒井三町議の選舉肅正委員任命内申洩れが問題化し町議側と町會との間に論争を展開した。即ち井上議長開會を宣するや、高橋町議緊急質問ありとて今回の選舉肅正委員任命内申に際し我々の同僚たる新井、高橋、酒井三君が肅正委員から除外されたことは同僚として同情に堪えない、町當局が三君を除外した理由を發表せよと青沼町長に迫れば、青沼町長は「公開の席上では發表致し兼ねるから秘密會でお答えしやう」と突跳ぬる。續いて馬目武議員「資格除除の原因が解消すれば三君を肅正委員に加へること出来ぬか」と質す。選舉肅正委員の任期は二年であるから再び資格を復活すれば當然お骨折をいやうと青沼町長から言明あり。問題の人酒井議員突如發言を求め

吾々三名の議員が肅正委員から洩れたことは甚だ慚愧に堪えぬ次第である、成程私は若干の滞納あり役場からの注意書を受つて納入したが、その時は既に遅く内申が知事の許可に送られた後であつた。

員の名譽職にある者、進んで自己の義務を果し納税の模範を示すべきである。憤然として答へる、その他三議員からの質問説明あり漸く付議事項に入り青沼町長から任期満了の酒井助役再推薦を提案

酒井現助役は八月二日で任期満了となるが、同氏は多年町村事務に精通し平町事務助役としては最適任と認め、町政多端の折柄同氏の手腕に俟つ所多し。

町長の答へに、再推薦の趣旨を説明、野崎明をなす、高橋議員再び起つて「關係者が差支へないといふか議員の動議で賛否を起立に閉ひら真相を發表せよ」と執拗に迫り酒井助役拍手れば青沼町長温顔に一抹の怒氣を以て浮べた。

東北大會の場

警中の經費に悩む

後援の手を差延べよ

警中野球後援會で寄付募集

われ等郷土の警中野球選大會に出場する資格を獲得球部が縣下中等學校した事はたゞ警中の譽れのみで野球大會に於て准決なく又郷黨の誇りでもある。縣勝戦に安積中學と對下大會の征衣の汗を拭ふ暇もな戦し既に勝ち切つた戦に警中野球部はさらに八月上旬に惜しき敗れを取つた。是言開催する、東北大會に於て宮城、白河中學、保原中學を屠り山形兩縣下代表を破り堂々甲子會代表校として東京朝日新聞社園に征馬を進めんと早くも海盛座に於て第三旅團長波田少將の時局講演會を催す。

消防界を打つて一丸

選肅運動に乗出す

消防精神に基く肅正の成果

平署管内消防組頭會議は二十四日午後二時から平署會議室で開き全管内組頭出席

- (一)消防組員監督(二)室外會合の令旨奉讀の際の組員の禮式(三)海水浴場その他水泳場の溺死者豫防(四)消防協會紀念會寄附金負擔(五)消防手帳の制定

等に就き打合せをなし終つて選舉肅正運動につき協議した結果來月一日から十日間肅正運動を起し組員は全部自村の神社で肅正祈願式を舉行、消防精神に基く肅正の成果を擧げべく全村有権者に趣旨徹底のビラを配付、また部落毎に肅正座談會を開催することを決定

新体操の講習會

來月四倉校で

四倉小學校職員會主催石城第四區教育會後援の新体操講習會は八月二日より四日迄三日間四倉同窓會(二三)兩名が二十五日午前八時四十分ごろ磐城炭礦經坑十一御石三片でダイナマイ中爆破作業中点火の不注意から田中は大腿部に全治二週間、菅野は臀部大腿部に全治一ヶ月の重傷を負ひ磐城高坂病院で入院加療中。

丹後澤祭典

八田氏奉仕

平町城山、丹後澤の人柱になつたといふ管波丹後を祀る神社の祭典は二十七日執行されるが、城山區では各種の餘興の外夜間は花火を打揚げ納涼客を慰める事である、丹後澤の管理者であるところの八田與市氏は二十七日祭典當日釣魚、貸ボート等祭典を祝ふ意味で料金を半額にするといふから賑はひを呈するであらふ。

平町選舉委員會

諮問答申案決定

平町選舉肅正委員會は二十八日午前十時から町會議事堂で開きさきに決定した三特別委員會議の諮問答申案を付議正式決定するが特別委員會議の原案通り決定するものと見られてゐる。

泉村情婦殺し犯人

けふ磐崎村で捕る

實父の家に舞戻つた處

中年者の執拗な邪戀から遂に女舞ひ戻つたところを張込み中のを殺害した湯本町宇吹谷農小松平署員に逮捕直に植田署に送送又(四三)の行方については植田署に厳重な取調べが開始された。田、平兩署協力して捜査に躍起犯人は兇行の廿三日以來三日間となつてゐる、小松は特徴のある山野に潜伏し警察當局の嚴重な人相なので生きてゐれば必ず警戒網を逃れてゐたものである。逮捕して見せると湯本町の同人宅には植田署員六名が張り込みまた同人母が小名濱町に居住してゐる關係からこゝにも数名の警官が嚴戒する一方平署員は親戚その他立ち廻りさきを警戒極小田炭礦株式會社株主總會は二力捜査に努めた結果二十六日午後八時前十一時から住吉屋本後一時ごろ磐崎村の實父の家に店を開く。

株主總會

小田炭礦の

秋原申八氏を社長とする好間村平南二年生體(一七)の右下腿部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

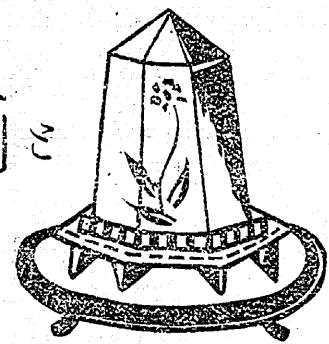
双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。

學生を轢く

双葉郡富岡町大和田自動車部運轉手根本倉吉(三一)は二十五日午後五時ごろトラクタを運轉中町久ノ濱町字金ヶ澤地内國道で同町字南町一八遠藤濱吉長男部骨折受傷を負せ四倉署で業務上失過傷害で取調べ中、體傷は四倉町木村醫院で手當中であるが全治二ヶ月の重傷である。



暑中の御贈答に!! 御宴席に!! 納涼に!!
是非ペチーアイス
小型花氷を!!

ペチーアイス券御利用下
さい。三回券(美術花氷
壺一個付)
金壺圓 參拾錢

配達迅速

氷は... 平製氷へ
電話二二八・三一六番

小型氷柱(長さ一尺二寸)美術花氷壺一個十錢
六時間保チマス)何回でも使用可能

和洋銅鐵金物問屋

久益屋商店
諸橋久太郎
電話九九

座敷食堂の設備あり

一品料理

うなぎ
かば焼

御料理

榮

折詰仕出し 配達迅速
平田町 電話四二四

内科 小兒科
花柳病科

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

耳鼻咽喉科 専門

病室完備... 自炊の便あり

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

警城名物
北海屋の

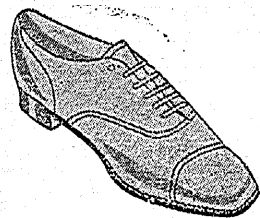
もち銘

箱入二十錢より
平町二丁目 北海屋商店
電話三八八番

夏は来り

●白靴を 二・五〇より六圓まで
●ハイキング靴を 七・五〇より

●ハイヒール靴を 七・五〇より
●ハイヒール靴を 七・五〇より



平四驛通 菊地ツバカ商店
電話九五六

白鳥礦泉旅館

ラヂウム 含 有 神経痛・リウマチスに特効

元湯 喜樂屋
中の湯 春木屋
古湯 吉田屋

湯本驛より約三十町自動車、人力車の便あり
石城郡磐崎村白鳥

◎四倉海水浴場開設

築港も稍完成高台の地を利
用し従來の白砂に海水浴の
氣分満点

◎斷然第一の海水浴場

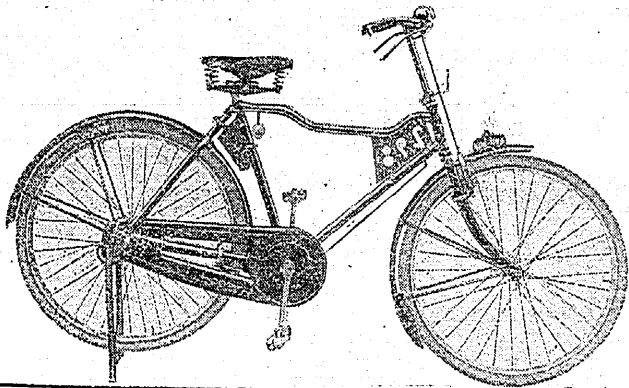
海水浴には是非四倉濱へ

各店サービス満点... 御食事御召上り物斷然安價

四倉海水浴場組合

◎埋立地 (賣店順東ヨリ)
新藤賣 伊藤賣 初木 金平 米平 太田 池田 竹松 清水
◎砂岸地
伊藤賣 初木 金平 米平 太田 池田 竹松 清水
伊藤賣 初木 金平 米平 太田 池田 竹松 清水

菊菱號 特許マーツ號



自轉車界の敵

優良な我が登録車を偽
作し亂賣してゐる者が
あります、偽代理店に
御注意下さい

製造元 東京

鹽野製作所

代理店 平町 エビスヤ商店
電話六六四番

耳鼻咽喉科 専門

病室完備 自炊ノ便アリ
平田町(電六九一)

山内醫院
醫學士 山内亨吉

高久病院
醫學士 高久忠
新海醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

亡母ヲ葬送の際に遠路の處御會
葬被下且つ御鄭重なる御香奠を賜
はり有難く御禮申上候乍略儀不取
敢以紙上御挨拶申述候
七月二十六日 平町白銀町

吉田禮次郎 (舊姓 素)
吉田喜代治
外親 戚一同